

NO. 98

2013年 9月27日

事務所：全渡島教職員組合内　函館市昭和町34-23 TEL 0138-42-7422

※事務局：〒040-0075 羽幌市万代町1-1由尾真代號 右 0138-43-2784

第一回 学習会 成功裏に終わる

8月も末の蒸し暑い日、今年度第一回田の学習会（恒例）が福祉センターで開かれました。福祉委員一同、「うまくいくかなあ」と不安と期待で「キドキしながら」の口を迎えました。というのも、今回、はじめて統一テーマではなく、「今、最も関心のあるもの」として「葬儀や墓のこと」「遺言の書き方や財産整理のしかた」「介護保険の有効利用など」の三つのテーマにしたからです。でも、でも・・・どのテーマも「これから的生活には欠かせないもので、きちんと向き合わなければならぬと思われているせいか、参加者は「十六名」にのぼり、中には初めてお会いした方もいらっしゃって感激でした。

実は、このアイデアを提供してくださったのは「お元気ですかアンケート」に答えてくださった会員でした。

三つに分かれたそれぞれのブースでは、みなさん講師のお話を熱心に聞き入っていました。ただ、同じ会場だったためにお互いの声がじやまになり、少し聞き取りにくい、集中しにくいなどの難点もありましたが参加者に喜んでもらえたことが何よりの収穫でした。終わってみれば、三つのテーマともキーワードは「主人公はあなたです！」

福祉委員会ではこれからも会員の皆さんの要望に添った学習会を計画したいと考えていますので、期待して下さい。

放射線教育に力を入れていて、しかし今は何事もなかったように学力向上に力を入れる以前の教育に戻っています。むしろ、放射線教育を続けていると保護者からも変な目で見られるようになつて来ました。」という小学校教員の発言と「日本が今までに蓄えたプルトニウムの量は45t以上あります。8kgで原爆一個を作れると言われるので、長崎型原爆5000個分の量です。マスコミの報道も少なくなり、福島が忘れられています。福島を忘れないでほしい。」と発言した福島からの参加者の声が印象的でした。

閉会総会では、東京の代表として7月の参議院議員選挙で当選した吉良佳子議員が登壇するとステージの前は写真を撮る黒山のよくな人ばかりとなり、大きな歓声が上がりました。発言す

第一回「集い」の計画

（文責・事務局長 多田真理子）

原水爆禁止長崎大会に参加して

山崎重

退職してのんびりと日々を過ごしていたある日、地域の原水協の方から世界大会への参加要請がありました。父が腎臓病で退院して病状も安定し、学生時代の仲間が熱海で「還暦祝い」を計画していたこともあり、要請に応えました。今大会は、外国から18カ国88名、北海道から146名(函館・道南10区)、全国から700名内外の参加を得て成功しました。

北海道の結団式では、山脇佳明氏の講演があり、「原爆は三度、人を殺した。一度目は熱線による、一度目は爆風によつて、二度目は放射線によつて人を殺した。」と話されたことが印象に残っています。山脇氏は2010年当時の菅直人に「非核大使」に任命され、現在も活躍されています。

開会総会では、静岡県湖西市長「二二元氏の「原子力発電所も核兵器とみなす」という提案が新鮮でした。20回の「核兵器と原発」の分科会に参加しましたが、偶然にも二二市長が特別発言者として参加しておられたので、さらに認識を深めることができました。①3・11以降世界中のテロリストは原発を狙っている。②日本の原発は1基5000億円でアメリカではテロ対策を施して1兆円で建設している。③日本の原発は「口を想定した対策が全く取れへん」と。などです。

ドイツ科学者連盟の「ヒラ・ヒヒカさんが「ドイツでは2000年に再生可能エネルギー法が成立しました。10年間で再生可能エネルギーの割合が6%から25%へと拡大しました。国内のエネルギー需要の最大50%は太陽

原付バイクのプレートの形が六角形や扇形があり、納税する市によつて形が違つようです。大きなホテルは高台に構えています。長崎湾を挟んだ夜景を一望できるからです。平成24年10月5日)に開催された「夜景サミット2012—[長崎]」において、「香港、モナ」「長崎の3都中が世界新三大夜景」に認定された。そつ



学生時代の仲間たちとの旧交をあたためることもできて有意義な大会参加になり、送り出していただいた七飯原水協の方々に感謝しております。

三十歩と十五歩の今

「三十歳(ねこせ)と十五歳(せんせい)の計画と実践について【田誌】をひもとく」を読みます。

そもそも論からすると、十年ほど前に逆上ります。「(山の会)の常連たった仲間の中にも、寄る年波、足腰の疲れや痛みに耐えかねるメンバーも出てきて、山登りに代えて何か!をしよ

呼び名は「(三)の森」になります。これが十五回と二十回を定例にして集まり「(三)の森」となり、最終的に「三十歩と十五歩づき」になつて、「三十歩と十五歩づき」が十回で「(三)の森」になります。

たが、月に一度は淋しいから、もう一回、十五日を増やしあした。そんなわけで正式名が決まり定着しました。
行き先は少し遠くへもど、車を乗り合わせて厚沢部町のエゾノリュウキン大群落地や戸井町のマツムシノウ群生地、恩山のヤマツツジ公園、鹿部回りで森町の桜が丘公園などにも足を延ばしました。スタートしてから十年を迎えてようとしている今日、車の長距離は少しずつセーブすることと、最近は「ハイ」精選して、計画に盛り込むことにしています。

少し淋しい気もしますが、安全第一を心掛けています。

◆さて、今年は第一回函館山麓の宮の森コース(四月十五日)は、夜分の雨も上がり、嘘のような晴天の散歩となりました。参加者十二名。早春のイチゴ・ネコノメソウ・キバナノアマナ・カタクリ等々を自ながら例年のコースを歩き、待ち合わせの喫茶店「想苑」に入りました。このコースが無理と思われる工藤・佐藤の二名は函館公園を一周して「想苑」で皆さんを待ちました。例年のようにコーヒー・タマゴ・パン・フルーツソーフト等で休憩後解散しました。参加者十二名。

◆第一回は四季の杜公園でしたか、生憎の雨模様の朝で中止を連絡しました。連絡係の佐藤から事前連絡することはないのですが、この日は早朝から何人の問い合わせがあり、時間も早かったので常連には全部中止を連絡の上、取り止めとなりました。(雨の時の慣例は本誌に載せてありますので)驚くださご



教育委員会より
お名前を用意です

教育予算の増額 善を求める請願署名の第一次集約月間も最後となりましたが、教育費無償化 父母負担軽減 教育条件の改善はかばかしくありません。

うなので実施。カタクリが一段落した後の山林に、シナフネアオイが群生するというので(倉部さん情報)昨年から実施。今年は作手より色の濃い、シナフネアオイを販売している。

「会員・家族作品展」を左記の日程で開催いたします。どうぞ
会場へ足をお運びください。

卷之三

十六日 午後1時

○会 午前10時～午後5時(一休日)
場 ネット^トタ美原店一階

交流コーナーを設けています

福祉委員会とタイアップし、気軽に談笑していただくためのコーナーを用意しました。「ヒーヒーを飲みたい方は、一階のコーナースタンド」「グラス代は、入館料と一緒に」と、下

200円。皆さんの来訪をお待ちしております。

ନେତ୍ର-ବ୍ୟକ୍ତିଗୁଡ଼ିକୁ ଉପରେ ଦେଖିବାକୁ ପରିଚୟ କରିବାକୁ

終了後には現職の先生方との交流の予定です。先生方が置かれている厳しい職場の実態をつかまえましょう。

日時と場所 10月20日(日) 七重小学校
日 程
9時30分～ 受けつけ

10時20分	分科会
12時	閉会集合
12時15分	
昼食	

14時30分質疑後片付け・終了

15時15分、全教との交流

※ 講演について

講師 杉原泰雄氏（東海大教授）
演題 「憲法と八公教育」

「我が子や教え子を戦場に送らぬいために」

分科会について

- ①子育てと子どもの生活について話す
- ②学力について話そう
- ③平和と未来を語ろう
- ④子どもの発達について考えよう